

# この世界とのつながりかた



- 93歳のおばあちゃんから17歳の高校生まで、計8人による展覧会
- 内容は、いわゆる「ボーダレス」です
- 川内倫子（滋賀県出身）の《Cui Cui》が日本で展示されるのは二度目。関西でははじめて！
- カタログ、チラシは、映画のフライヤーや書籍装丁で人気の古田雅美＋林琢馬がデザイン！
- 保坂健二郎（東京国立近代美術館研究員）がメイン担当となって展覧会を企画

ボーダレスアートミュージアム

NO-MA

2009年10月24日(土) ～ 3月7日(日)

お問い合わせ先

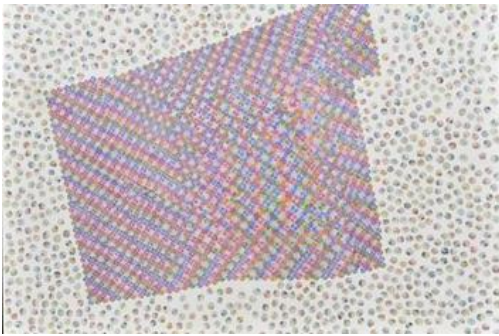
イメージ貸出・取材：井上、齋藤

展覧会内容：井上、齋藤

PHONE/FAX 0748-36-5018

EMAIL: no-ma@lake.ocn.ne.jp

記事を掲載していただける場合  
読者プレゼント用に  
招待券をお渡しできます



タイトル	この世界とのつながりかた
会期	2009年10月24日(土)～2010年3月7日(日)
開館時間	午前10時から午後5時まで(入館は閉館30分前まで)
休館日	月曜日(ただし祝祭日は開館し、翌日閉館)、12月28日～1月8日
主催	社会福祉法人 滋賀県社会福祉事業団、ボーダレス・アートミュージアムNO-MA
後援	滋賀県、滋賀県教育委員会、近江八幡市、近江八幡市教育委員会
助成	日本財団
協力	正史会大和病院、AOYAMA   MEGURO、FOIL GALLERY、MISAKO&ROSEN
会場	ボーダレスアートミュージアムNO-MA、尾賀商店
アクセス	NO-MA 〒523-0849 滋賀県近江八幡市永原町上16 尾賀商店 〒523-0848 滋賀県近江八幡市永原町中12
観覧料	観覧料：一般500円 高校生/大学生450円 *中学生以下は無料。
お問合せ	0748-36-5018 (ハローダイヤル)
ホームページ	<a href="http://www.no-ma.jp">http://www.no-ma.jp</a>
記者内見会	10月24日は、終日担当者が会場におります。
イベント 講演会など	<p><b>アーティストによるトーク</b> *いずれも会場にて。聴講無料(要観覧券)、申込必要、先着30名</p> <p>10月24日(土) 15:00～16:30 尾賀商店 川内倫子(出品作家) 「自作について」</p> <p>11月15日(日) 13:30～14:30 諏訪哲史(小説家)「内面と外面について」</p> <p>12月6日(日) 13:30～15:00 奥村雄樹(出品作家)、森田浩彰(出品作家)、保坂健二郎(担当キュレーター) 「なぜ、身の回りのものなのか」</p> <p>1月31日(日) 13:30～15:00 はたよしこ(NO-MAアートディレクター)、保坂健二郎</p> <p><b>担当キュレーターによるギャラリー・トーク</b> *いずれも参加無料(要観覧券)、申込不要 2月7日(日) 14:00～15:00</p>
プレゼント	いずれの展覧会も、記事を掲載していただける場合「読者プレゼント」用に招待券をお渡しできます。枚数は応相談。希望される方は、ご連絡ください。

## 展覧会概要

今、インターネット、Eメール、SNS、twitterなど、コミュニケーション・ツールの拡大化・細分化が話題を呼んでいます。また、核家族化が進んだり、生活基盤が弱体化したりしています。そうした様々な変化の中で、私たちは、「私」が活着しているはずの「この世界」とはいつたいなんであるのかについて、自信が持てなくなっているのではないのでしょうか。

おそらく大事なのは、「内面」を英語では「inner world」と言うように、私たちの内側にも「この世界」は広がっているのだと思ひ出してみる事です。見えない「この世界」と見える「この世界」。それらの中には違ひがありますが、といて、どちらがより大事ということは、なかなか言えないはずです。そしてここから逆説的に次のように考えられるでしょう。私たちが生きるということは、これらふたつの「この世界」をすりあわせていくことではないだろうか……

この展覧会には、そうした営みを、粛々と続けている人たちの作品を展示しています。年齢は17歳から92歳まで。世界的に活躍するプロのアーティストもいれば、精神病院で暮らしている人もいます。シンプルな絵画を描く者もいれば、コンセプチュアルな作品をつくる者もいます。でも、そこには共通点があります。彼らは皆、「内面」をきちんと凝視した上で、そのまなざしを外に向け、そのときなにが見えるか、なにがどう揺らぐかに、精神を集中させようとしているのです。その結果に生まれた作品ですから、その前でしばし佇む者には、「この世界とのつながりかた」についてそつと囁いてくれることでしょう。

### 出展作家

秋葉シスイ (Akiba Sisui)

奥村雄樹 (Okumura Yuki)

川内倫子(Kawauchi Rinko)

仲澄子(Naka Sumiko)

橋口浩幸(Hashiguchi Hiroyuki)

松尾吉人(Matsuo Yoshito)

松本寛庸(Matsumoto Hironobu)

森田浩彰(Morita Hiroaki)